National Parks of Japan

資料３

国立公園における
滞在体験の魅力向上事業について
（報告）

2025年3月12日（水）
環境省自然環境局国立公園課

国立公園における滞在体験の魅力向上事業の展開

2024年7月19日　第24回観光立国推進閣僚会議資料

環境省

- 国立公園の美しい自然の中での感動体験を柱とした滞在型・高付加価値観光の推進を図るため、民間活用により滞在体験の面的な魅力向上に取り組む「先端モデル事業」を4公園で実施。

先端モデル事業（十和田八幡平、中部山岳、大山隠岐、やんばる）

民間の発想を活かした滞在体験の魅力向上をパッケージで実施

十和田八幡平国立公園休屋・休平地区における取組（イメージ図）

滞在拠点の上質化
（廃屋撤去・利用施設の整備）

推進体制
地域関係者による地域協働実施体制を構築

自然環境保全

連携

利用の高付加価値化に係る基本構想策定

休屋・休平地区（利用拠点に選定）

利用拠点マスタープラン等の作成

宿泊施設の方向性検討・継続的なサウンディング

国立公園ならではの感動体験を提供する宿泊施設の誘致

宿泊事業者公募

ヨセミテ国立公園ウェブサイトより

連携　提案

十和田湖1000年会議（地域協議会）

意見公募
地域内外の民間事業者からサウンディング

連携

自然体験アクティビティ

プロモーション

得られた知見を活用

更なる展開事業（全国各地）

○全国の国立公園（全35公園）において、地域の理解を得つつ、民間事業者の意向を把握し、各公園の特性に合わせて取組内容を調整した上で、民間活用による魅力向上の取組を展開。

- 順次、地方公共団体や民間事業者において滞在体験の魅力向上の取組に関心のある地域から、地域説明会やサウンディング調査をすみやかに実施。
- 並行して、学識経験者や民間事業者の意見を踏まえながら、全国展開に係るスキームや実施主体（民間事業者等）への協力・支援等の内容を検討。

国立公園制度100周年となる2031年までに、全ての国立公園で民間活用による魅力向上事業を実施

国立公園における滞在体験の魅力向上事業　先端モデル事業の進捗

環境省

- R5.8に選定された「先端モデル事業」4公園では、それぞれ検討体制を構築し、利用の高付加価値化に係る基本構想の策定と利用拠点の選定を実施
- 今後、利用拠点のマスタープラン（MP）を策定し、宿泊施設の誘致に向けた民間企業のサウンディング等を実施していく

	十和田八幡平国立公園（十和田湖地域）	中部山岳国立公園（南部地域）	大山隠岐国立公園（大山蒜山地域）	やんばる国立公園
検討体制	十和田湖1000年会議	中部山岳国立公園 南部地域利用推進協議会	大山蒜山地域関係自治体、 大山寺地区協議会・WG	やんばる国立公園連絡協議会
利用拠点	R6.3公表 休屋・休平地区 （青森県十和田市、秋田県小坂町）	R6.10公表 乗鞍岳・乗鞍高原・白骨温泉・さわんど温泉地区 （長野県松本市、岐阜県高山市）	R6.10 公表 大山寺地区 （鳥取県大山町）	R7.6頃公表予定
基本構想	R6.3公表	R6.12公表	R7.3公表予定	R7.6頃公表予定
MP策定に向けた見通し	十和田湖1000年会議において、 • R6.10 MP骨子協議 • R7.3 MP素案協議	拠点現況調査（ヒアリング）の実施 地区別チームで検討中 行政機関共有会を実施	R7年度～ 大山寺地区ならではの宿泊施設を核とした滞在体験プランを検討	－